地域レベルでの漁況海況情報の提供事業－Ⅱ
カツオ・ビンナガ漁況調査

山 川　　卓・岡 本 楠 清・松 尾 剛 平・柴 原 浅 行
谷 水 宗 美・柴 原　　昇・柴 原 伸 弘

目　的

カツオ・ビンナガ竿釣り漁船の漁況連絡簿等をもとに漁況データを解析し，漁業者に漁場形成に関する情報を提供するとともに，漁場形成機構を解明するための基礎資料を得る。

方　法

三重県漁撈通信連合会および近海漁撈通信連合会所属船から「無線漁況連絡聴取簿」（QRY情報）の提供を受け，カツオ・ビンナガ漁船の月別・旬別稼働隻数および漁獲量を緯度・経度毎に整理し，漁場の推移や漁況と海況の関連等について検討するとともに，県内主要４港（和具・浜島・長島・尾鷲）における沿岸小型船（竿釣，曳縄）の月別・旬別稼働隻数とカツオ水揚量，および水揚個体の魚体調査を行った。

結果および考察

１．カツオ漁況

１）沿岸小型船（20トン未満，竿釣・曳縄・延縄漁）

県内主要4港（和具・浜島・長島・尾鷲）における沿岸小型船（竿釣，曳縄，延縄）による平成12年１～12月のカツオ水揚量は2,497トンで，前年の817トンを大きく上回り，近年で最高の値を記録した（図１）。今年は例年になく，年始めの１～３月にも体長40cm前後の小型個体を中心に水揚げが見られた（図２）。４月～６月の漁獲の主体は体長43cm前後の個体であった。総じて年の前半は曳縄漁による水揚げが主体，６月以降は竿釣漁による水揚げが主体であった。曳縄漁，竿釣漁による年間水揚げ量はそれぞれ，1,418トン，1,077トンであった。沿岸小型延縄船による水揚げ量は年間合計で約２トンであった。漁場は大王埼沖２～20マイルを中心とした，熊野灘から遠州灘にかけての黒潮流路の北側海域全域であった。夏以降の竿釣漁ではカタクチイワシ餌が不足したため，熊野灘沿岸域にカツオ魚群が見えても操業ができない状態が往々であった。

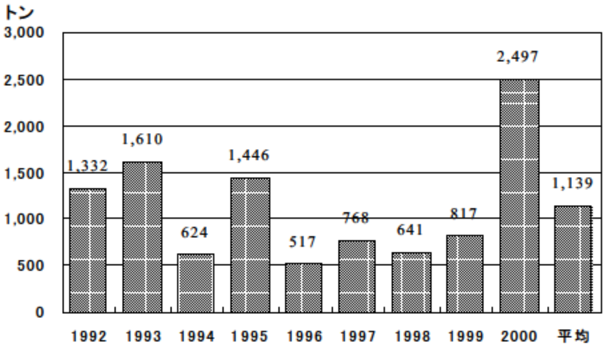

図１　三重県沿岸小型船によるカツオ水揚量の経年推移（県内主要４港）

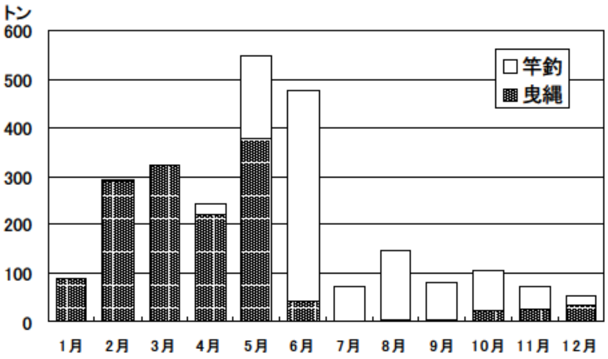

図２　三重県沿岸小型船によるカツオ水揚量の月別推移（平成12年；県内主要４港）

２）中型竿釣り船

本県所属の近海中型竿釣り船(21隻)のQRY情報による1987年のカツオの漁獲量は16,869トンで，前年の15,058トンを上回り、平成２年以降で最高となった（表１）。５～６月に房総半島沖に来遊して好漁場を形成した主群(魚体長43cmモード）は，例年より早く北上し，６月上旬には一部の群が金華山沖に，６～７月には主群が三陸沖へと移動した。８月には親潮第２分枝の東側に漁場が形成された。９～10月の秋漁には，三陸沿岸寄りから北海道沖にかけて主漁場が形成され，活況を呈した。月別水揚げ量の推移からみた今期の特徴は，５月～６月の好漁が年間水揚げ量の増加に大きく寄与し，その後も秋まで好漁が持続したことである。ただし，今期は魚価安が問題となり，５月と10月に自主的な水揚げトン数制限を

行ったため，年間漁獲量の増加にある程度の歯止めがかかることとなった。

３）大型竿釣り船

本県所属の大型竿釣り船（23隻）のQRY情報による平成12年のカツオの漁獲量は29,034トンで、平成２年以降の平均値（30,516トン）を若干下回った（表２）。１月にはマーシャル群島水域東側での操業が中心で，その後漁場を徐々に北西へ移動しながら，５月後半のマリアナ諸島東方海域まで，広範囲な海域での操業が行われた。６月以降は，東沖から天皇海山水域のビンナガ漁場で全船が操業を行った。11月後半には，マリアナ諸島東方に漁場形成がみられたが，カツオの魚価安等により12月には漁模様を見ながら東沖で操業する船もあった。

表１　三重県中堅船カツオ漁獲量の推移

単位:トン

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1987	177	222	660	1,373	1,185	777	687	673	1,169	762	205	0	7,890
1988	265	512	771	592	1,623	1,412	2,292	932	734	410	94	0	9,637
1989	304	338	522	907	858	1,163	1,040	639	1,062	758	167	0	7,758
1990	217	393	518	626	978	916	926	293	1,039	543	51	0	6,500
1991	122	349	408	966	1,288	1,560	2,676	1,540	2,046	1,232	552	0	12,739
1992	121	364	564	1,011	1,113	1,405	1,868	1,147	1,029	803	325	54	9,804
1993	129	636	837	1,135	2,530	2,189	2,441	2,482	2,530	1,453	291	0	16,653
1994	153	287	231	694	1,507	1,839	1,197	561	772	1,172	169	13	8,595
1995	128	423	559	818	1,043	2,454	1,666	1,296	1,607	980	183	0	11,157
1996	44	348	431	1,275	1,685	1,691	750	579	709	365	82	0	7,959
1997	34	199	377	1,332	2,573	1,010	1,932	1,218	1,150	1,702	787	43	12,357
1998	60	558	619	831	926	1,432	1,743	1,903	1,489	1,855	465	0	11,881
1999	70	322	641	912	1,137	1,789	2,450	2,205	3,387	1,989	156	0	15,058
2000	47	406	560	1,292	3,121	1,462	2,654	1,611	3,070	1,694	952	0	16,869
平均	134	383	550	983	1,541	1,507	1,737	1,220	1,557	1,123	320	8	11,061

表２　三重県大型船カツオ漁獲量の推移

単位:トン

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1992	764	350	2,585	2,671	4,161	1,257	2,371	4,614	2,943	2,766	3,360	2,726	30,568
1993	1,272	2,019	2,583	2,976	3,214	1,677	3,164	5,337	5,426	2,846	3,199	2,365	36,078
1994	754	2,822	2,263	3,398	2,907	4,049	1,668	82	3,525	2,807	3,101	2,285	29,661
1995	1,633	2,753	2,571	4,312	2,225	2,817	2,143	1,422	5,298	2,042	1,279	4,510	33,005
1996	656	1,602	2,093	2,857	4,010	1,151	1,508	1,439	1,862	4,103	1,542	3,072	25,895
1997	2,587	2,369	4,077	3,162	1,433	2,177	4,642	930	555	2,471	2,038	4,087	30,528
1998	521	599	4,254	3,781	4,246	4,458	2,572	2,109	1,235	3,583	2,607	3,210	33,175
1999	562	2,883	3,410	3,826	2,987	440	6,112	730	540	903	487	3,820	26,700
2000	1,405	1,785	3,881	2,503	3,349	71	4,054	1,687	633	5,917	1,783	1,967	29,034
平均	1,128	1,909	3,080	3,276	3,170	2,011	3,137	2,039	2,446	3,049	2,155	3,116	30,516

２．ビンナガ漁況

１）中型竿釣り船

本県所属の近海中型竿釣り船（21隻）のQRY情報による平成12年３～８月のビンナガの漁獲量は298トン（年間合計313トン）で，前年の2,446トン，1989年以降の平均値1134トンをいずれも大幅に下回った（表３）。今年度漁期の中型竿釣り船では，好調であったカツオを主体として操業が行われたことも，ビンナガ漁獲量減少の一因である。５月に伊豆列島東側のC海区で120トン，７月に三陸東沖漁場のD海区で96トンの漁獲があったのみで，大きな漁場形成は見られなかった。

表３　三重県中型船ビンナガ漁獲量の推移

単位:トン

年／月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年間計
1989	2	12	349	202	5	0	570
1990	17	7	34	77	183	0	318
1991	203	259	504	150	37	15	1,168
1992	44	20	3	175	337	11	590
1993	45	36	7	85	34	0	207
1994	183	328	61	182	43	0	797
1995	0	2	19	24	2	0	47
1996	38	3	38	1,132	477	0	1,688
1997	7	25	197	1,967	66	0	2,262
1998	378	1,037	104	1,005	478	216	3,218
1999	201	110	1,707	420	8	0	2,446
2000	8	25	136	34	96	0	298
平均	94	155	263	454	147	20	1,134

２）大型竿釣り船

本県所属の大型竿釣り船（23隻）のQRY情報による平成12年５～11月のビンナガ漁獲量は11,257トン（年間合計11,638トン）で，きわめて豊漁であった前年の24,361トンに比べると46％の水準にまで大幅に減少したが，1989年以降の平均値8,170トンは上回った（表４）。５月にC海区において中型船との競合で操業が始まり，６月には三陸沖のD海区へ北上，７～８月は天皇海山漁場（F海区）での操業が主体となった。９月にはD海区の北緯43～46度，東経160～165度の高緯度海域で操業が行われた。年間を通した海区別の漁獲量は，D海区6,204トン，F海区4,761トンで，両海区で全体の94％の漁獲を占めた。

関連報文

三重県科学技術振興センター水産研究部（2001）平成12年度三重県竿釣りカツオ漁況総括，三重県竿釣りビンナガ漁況総括.

表４　三重県大型船ビンナガ漁獲量の推移

単位:トン

年／月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年間計
1989	84	856	141	0	0	0	0	1,081
1990	0	121	1,083	73	63	61	0	1,401
1991	44	262	11	84	1,339	0	0	1,740
1992	6	2,786	2,028	62	0	0	0	4,882
1993	4	2,229	1,440	2	11	0	0	3,686
1994	155	350	3,360	6,518	257	14	0	10,654
1995	90	864	4,022	5,019	286	592	803	11,676
1996	5	2,814	2,746	1,074	331	0	12	6,982
1997	169	2,644	1,888	3,132	2,681	1,885	192	12,591
1998	0	29	2,579	3,010	1,813	298	0	7,729
1999	1,271	5,749	1,074	6,537	5,456	3,047	1,227	24,361
2000	414	2,834	2,859	1,974	2,933	159	84	11,257
平均	187	1,795	1,936	2,290	1,264	505	193	8,170